

収支状況	<p>1 東日本台風等により、厳しい状況での施設運営を行ったが概ね適正な収支状況である。</p> <p>2 修繕費について、修繕が必要となった経緯が不明確なものが散見される。</p> <p>3 評価年度は東日本台風による水害等があったとはいえ、予算の積算が少し甘い印象を受ける。</p>	<p>1 今後とも、努力してまいります。</p> <p>2 小規模修繕を実施する際にも、修繕原因をしっかりと分析し、適切な修繕に努めます。</p> <p>3 評価年は「特殊年度」として捉えています。しかし予算積算に当たっては、当該年度の事業計画を精査しつつ、計画に見合った予算編成を心掛けてまいります。</p>
総合評価	<p>1 台風被害や新型コロナウイルス感染症等といった特殊要因がある中、概ね問題なく事業運営が行われている。</p> <p>2 管理者側の説明責任への取り組みが不足している。</p> <p>3 県の定期的なモニタリングを強化し、予算の適正な執行をしてほしい。</p> <p>4 障害福祉サービス分野は法律改正等常に制度が変化していることから、常に情報を速やかに入手し、先駆的施設として取り組んでほしい。</p> <p>5 本施設のような職員が頑張っている施設の活動がもっと県民に理解され、多くの県民に利用されるような社会になってほしい。</p>	<p>1、5 今後とも、努力してまいります。</p> <p>2、3 県と指定管理者とで連携を密にとり、適正な執行となるよう努めてまいります。</p> <p>4 県をはじめとする行政機関や本部事務局、他県の同種施設等とのつながりを深め、情報収集に努めるとともに、情報発信を行ってまいります。</p>
施設の管理運営の課題	<p>1 職員研修や人材育成の計画に、コンプライアンス研修を追加し、職員個々のスキルを向上させてほしい。</p> <p>2 主に広報を実施している地域が施設のある北信に偏っている傾向にあるため、予算の組み立て、広報方法等を検討し、県内全域の方々に利用サービスを図れるよう検討してほしい。</p> <p>3 全国障害者スポーツ大会の長野県開催が予定されている中、市町村も障がい者スポーツ行政の機運醸成に取り組んでいる。そこで施設を県民に広げる観点と、市町村の障がい者スポーツ推進の観点からも、より両者の連携を深めてほしい。</p>	<p>1 職員研修に当該研修を追加する等を行い、職員個々のスキルを向上させていけるよう、取り組みます。</p> <p>2 広報内容・地域等を精査し、必要な情報を必要な方に届けられるよう情報発信を行ってまいります。</p> <p>3 利用しやすい施設を目指すと共に、本館、サンスポートでは、障がいのある方のスポーツ推進に向けて貸出し用具を拡大し団体、個人と多くの方に実践いただき、求めに応じて連携も図っていきます。</p>